

平成 30 年度決算報告説明における主な意見

質問：財政状況が厳しい本市の問題点、課題は何か。

回答：歳出を抑えるとともに、自主財源を増やすことだと考えます。

質問：基金からの繰入金約 6 億円との説明ですが、基金（貯金）を取り崩すということは、第二の夕張市になるのではないかと心配する。

篠栗町の町長は、自ら総務省に行って財政の窮状を訴えるとともに、交付税の増額を要望して実現している。

楠田市長は、そこまでやっているのだろうか？

回答：市長の行動は分かりませんが、市長と議長が一緒になって国に対して要望することはあります。財政状況については、執行部より財政指標に基づいた報告を受けており、議会としても確認をしています。

質問：決算の報告を聞いてがっかりしている。これでは市執行部の説明であり、議会としては執行部の働きをチェックするのが役割と考える。これで決算をしっかりと審査したといえるのだろうか。

また、政務活動費については、その執行率が半分であり、次年度の政務活動費予算は減額すべきではないか。さらに、政務活動費を有効に使うような議員活動が必要ではないか。

回答：決算審査の詳細な内容については、全文を議事録に載せています。また、政務活動費については、条例に基づいて支給されており、前年度の決算を反映させるためには条例の変更を伴うことなどから難しいと考えます。

質問：決算審査書類が議員の元に届くのはいつ頃か。審査するのに十分な期間とることができているのか。

回答：告示日の二週間前ぐらいに配付されており、審査の準備期間としては十分あると考えます。

意見：市民が求める施策を行うためには、経費を節減しなければならないと考えるので、議会としても働きかけを行っていただくようよろしく願います。

質問：議会は、市長・執行部を監視することが仕事であると考え。歴史スポーツ公園の管理と利用に関する問題について、特定の個人・団体に、税金を使って施設整備を行ったり、倉庫の設置を認めたりしている。市の監査で改善を指摘されているにもかかわらず、なぜ改善されないのか。

議会の権能である調査権や検査権を使うなどして、議員に任せるのではなく、議会として対処されないのか伺う。

回答：一般質問で各議員が問題提起をしている状況であり、執行部の回答などの経過を確認している状況です。

議会全体としては、今から目に見える議論の形で示していきたいと考えています。
